

Program

Stage 1

第1部:吹奏楽オリジナルステージ

マーチ「ハロー!サンシャイン」 作曲／松尾 喜雄
March "Hello, Sunshine!" Music by Yoshio Matsuo

第3組曲～バレエの情景 作曲／アルフレッド・リード
Third Suite for Band~Scenes de Ballet Music by Alfred Reed

第1楽章：ファンファーレと序章 Fanfare and Intrada

第2楽章：パ・ドゥ・ドゥ Pas de deux

第3楽章：風変りなポルカ Polka excentrique

第4楽章：全員の踊り Danse générale



架空の伝説のための前奏曲 作曲／山内 雅弘
Legendary Prelude Music by Masahiro Yamauchi

民衆を導く自由の女神 作曲／樽屋 雅徳
Liberty Guiding the People Music by Masanori Taruya

Stage 2

第2部:吹奏楽で聴く映画音楽の世界

ザ・ブルース・ブラザーズ 編曲／レス・ティラー
EVERYBODY NEEDS SOMEBODY TO LOVE (Bert Berns)
I CAN'T TURN YOU LOOSE (Otis Redding)
SOUL MAN (Isaac Hayes and David Porter)
R-E-S-P-E-C-T (Otis Redding)
GIMME SOME LOVIN' (Steve Winwood, Muff Winwood and Spencer Davis)
THE BLUES BROTHERS Arr. by Les Taylor

ニュー・シネマ・パラダイス 作曲／アンドレア・モリコーネ、エンニオ・モリコーネ 編曲／大島ミチル
ニュー・シネマ・パラダイス～愛のテーマ～初恋
Nuovo Cinema Paradiso Music by A. Morricone and E.Morricone Arr. by Mitiru Oshima

スマイル 作曲／チャールズ・チャップリン 編曲／天野 正道
Smile Music by Charles Chaplin Arr. by Masamichi Amano

スパイ大作戦のテーマ 作曲／ラロ・シフリン 編曲／真島 俊夫
Mission Impossible Theme Music by Lalo Schifrin Arr. by Toshio Mashima

ホール・ニュー・ワールド 作曲／アラン・メンケン 編曲／星出 尚志
A Whole New World Music by Alan Menken Arr. by Takashi Hoshida

交響組曲「ハリー・ポッター」 作曲／ジョン・ウィリアムス 編曲／R.W.スミス
HARRY POTTER SYMPHONIC SUITE Music by Masanori Taruya Arr. by Yoshio Matsuo

団員募集

コンセール・リベルテ・オルケストル・ドゥアルモニーでは団員を募集しております。
私達と一緒に「楽奏」しませんか？高校生以上で練習に意欲的に取り組んでいただけの方であれば、ブランクのある方も初心者の方でもOKです。
※高校生の場合は、保護者の承諾書が必要です。

●詳しく述べは当団ホームページをご覧ください。
<http://orchestra.musicinfo.co.jp/~liberte/>
●メールでのお問い合わせ
kengaku_liberte@yahoo.co.jp (人事/中島)
※このホームページは、クラシック音楽情報センター (<http://www.musicinfo.com>) より、サーバーの無償使用の提供を受けています

第4回定期演奏会のお知らせ

◇日 時：2007年3月3日(土) 時間未定

◇場 所：タワーホール船堀 大ホール
(江戸川区総合区民ホール)

※詳細は当団ホームページにてお知らせしていきます。

Designed by E.Nishida

Regular Concert 2006 Member & Staff

団長 渡辺 俊久
副団長 坂本 真一朗
団員指揮者 渡辺 俊久
演奏会企画 阿部 美由紀 宇佐見 あす香 海野 亘
金築 昌子 坂本 葉穂子 友田 秀紀
安岡 智則 山本 祥子 渡部 友貴
総務 朝倉 智幸 井上 裕美 片岡 典子
鈴木 亜由美 照井 知美 渡部 友貴
涉外 海野 亘 中田 英夫 荒木 宏子
譜面管理 滝澤 瑠美 田中 陽子
中島 純子 原田 幸一郎
広報 宇佐見 あす香 竹田 あづさ
田中 陽子 西田 江里

Flute 片岡 典子 Horn 阿部 美由紀 PL
坂本 葉穂子 宇佐見 あす香
滝澤 瑠美 金築 昌子
中島 純子 笹川 かおり S
中島 悠未子 竹田 あづさ
西澤 諭 PL

渡辺 俊久 Trombone

Clarinet 片岡 典子
井上 裕美 友田 秀紀 (E.Bass)
上原 喜久代 S 安岡 智則
田中 陽子 山本 祥子 PL
照井 知美 PL
宮古 恵子 S Euphonium
依田 純子 西田 江里

Bassoon 朝倉 智幸 (Oboe) Tuba
青木 勲介 S 青木 勤介 S
三輪田 真澄 S

Alto Saxophone 荒木 宏子 (Piano) Percussion
由利 美穂子 小澤 奈穂子 PL
渡部 友貴 春日 孝彦 S

Tenor Saxophone 中田 英夫 Tenor Saxophone 中田 英夫
Bariton Saxophone 海野 亘 PL 堀田 耕一郎 S

Trumpet 小嶋 洋一 S Announcer 竹内 泰子
齊藤 功 Stage Manager 脇村 隆

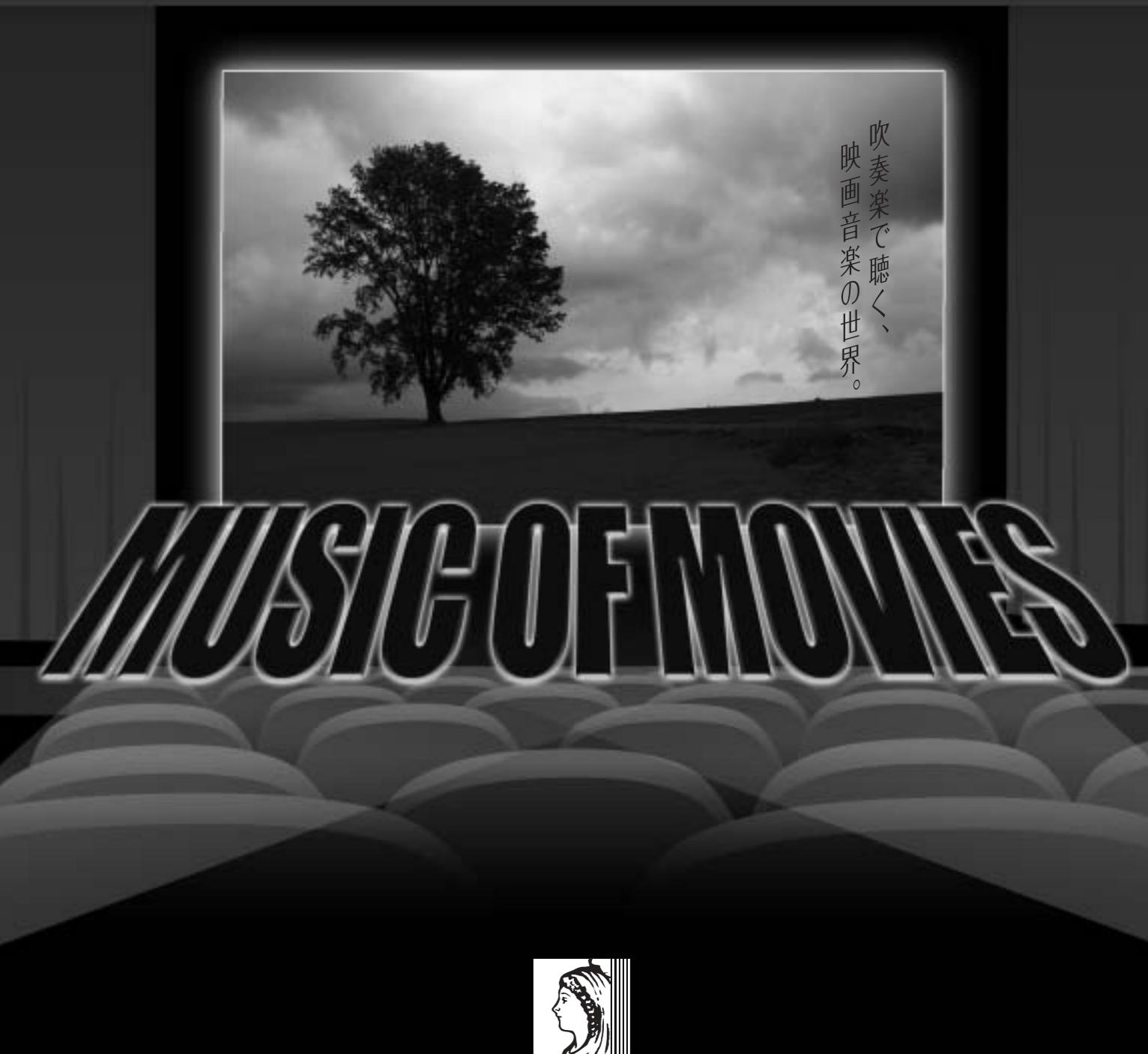
田中 葉穂子 原田 幸一郎 PL
森 江里子 S 渡辺 真人 S

S 賛助出演 PL パートナー

五十音順 敬称略

3rd Regular Concert

第3回定期演奏会



Le concert liberte orchestre d' harmonie

コンセール・リベルテ・オルケストル・ドゥアルモニー

国立オリンピック記念青少年総合センター・大ホール

2006.4.29

Greeting

団長 渡辺 俊久 Toshihisa Watanabe

本日は我々コンセル・リベルテ・オルケストル・ドゥアルモニーの第3回定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。

当団は2001年の設立以来、今年で活動5年目に入りました。その間、吹奏楽コンクール、アンサンブルコンテストへの出場、また定期演奏会の開催を行なって参りました。去年は荻窪の音楽祭に出演するなど、演奏披露の場を広げることができました。

また、より良い音楽を提供することを恒久的な目標とし、色々な試みを行なっています。今回、客演指揮者として手島 涉氏をお迎えしたことその一つです。これまでのリベルテとはまた違った音楽をお届けできるかと思います。

今回の演奏会は第1部になかなか馴染みのない珠玉の吹奏楽オリジナル曲を集めてみました。普段吹奏楽オリジナル曲を聴くことのない方が楽しんでいただければ幸いです。

また第2部では吹奏楽で聞く映画音楽をテーマに皆さまに馴染みのある曲を演奏します。かつて見た映画の場面を思い浮かべながら聴いていただきたく思います。

最後になりましたが、日頃リベルテに対してご協力頂いている方々にあつく御礼を申し上げます。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いします。

客演指揮者 手島 涉 Wataru Teshima

群馬県高崎市出身、東京コンセルヴァトール尚美（現東京ミュージック＆メディアアーツ尚美）卒業。オーボエを似鳥健彦、榎原誠の各氏に、指揮法を坂本和彦氏に師事。

現在、関東甲信越を中心に吹奏楽指導・指揮・マーチング指導の他、音楽雑誌をはじめ、各協会機関紙等への執筆活動や、コンテストの審査員も務めるなど、幅広い活動を展開。

全日本学校音楽研究会講師、日本吹奏楽指導者協会認定指導員、日本マーチングバンド・バトンワーリング協会準公認指導員、財団法人音楽文化創造生涯学習音楽指導員、日本管打・吹奏楽学会員。



Program Notes

マーチ「ハロー!サンシャイン」 作曲／松尾 喜雄

1987年度全日本吹奏楽コンクール課題曲。松尾氏は、「虹色の風」「パクスロマーナ」など、数々のコンクール課題曲を作曲しています。

思わず「ハロー!」と呼びかけたくなるような明るさがあり、中間部の中音域のメロディーが魅力的な曲です。さらに南国的な色彩を感じることができる、さわやかで優しいオープニングにふさわしいマーチです。

第3組曲～バレエの情景 作曲／アルフレッド・リード

皆様は世界で最も有名な吹奏楽作曲家とも言える、アルフレッド・リードの名をご存知でしょうか。

氏は「アルメニアンダンス」「春の獵犬」など、吹奏楽に触れたことのある人であれば誰もが一度は耳にしたことのある曲を数多く世に送り出してきました。残念ながら昨年9月に亡くなりました。氏への追悼を込めて作品の中から「第3組曲」をお送りします。

この曲は、「バレエの情景」というサブタイトルにあるように、バレエをイメージした4楽章の組曲となっています。金管楽器の華やかなファンファーレで始まり、絶えず転調を繰り返すというパターンが特色の第1楽章、美しいフルートのソロとそれに続く旋律が、男女二人の踊りを表す第2楽章、伝統的な2/4拍子のポルカに5/8拍子の変拍子が時折現れる、リズミカルで小気味良い第3楽章、そして全員の踊りを表す第4楽章へと続き、劇的なクライマックスを迎えて終わります。

移り変わっていく様々な踊りの情景を思い描きながら、巨匠リードの世界をお楽しみください。

架空の伝説のための前奏曲 作曲／山内 雅弘

この曲は、第16回朝日作曲賞受賞作品で、本年度の全日本吹奏楽コンクール課題曲に選ばれた話題の曲です。

序奏部分では、物語がこれから始まるという期待感に満ちています。そして、生き生きとした前進感の中で、低音楽器と打楽器で刻むリズムに乗せて、トランペットからクラリネットへとメロディーが続いて行きます。中間部では、木管楽器による、切なくも美しいメロディーが展開して行き、クライマックスに向かって緊張感が高まって行きます。そしてラストは全体で同じリズムを刻み、一気に終結へと向かい、力強い金管楽器で締めくられます。

何かを描写しているようなストーリー性のある音楽ではありませんが、タイトルにあるように、この音楽の後に何か壮大な物語が始まるような雰囲気を持っています。

民衆を導く自由の女神 作曲／樽屋 雅徳

フランスロマン主義の画家、德拉クロワの代表作「民衆を率いる自由の女神」を表現した曲です。

絵画は1830年の七月革命が題材となっており、自由を勝ち取ろうとする民衆の激しい情景が描かれています。

曲の始まりでは、クラリネット、サックスの16分音符で自由を求める民衆が徐々に集結していく様子が表現され、高音木管楽器、トランペットのテーマが、民衆を導いている女神の神々しいテーマを印象づけます。

その後打楽器の緊迫した刻みに乗って、クラリネット、サックスからフルートへメロディーが受け継がれていきます。争いはいっそう激しくなり、その喧騒の中、武器をかけ戦い続ける民衆の姿を金管楽器のコラールが描き出します。

ついに暴動は終わり、ユーフォニアムが再び女神のテーマを奏でます。美しいメロディーは自由を手に入れた民衆に光が差すような情景が表現されています。やがてソロは高音木管から低音楽器へと受け継がれ、女神のテーマが繰り返されます。こうして自由を求めた革命はひとつの結末をとどり、輝く未来に向けて歩み出す壮大なエンディングを迎えます。

ザ・ブルース・ブラザーズ 作曲／レス・ティラー

この曲は、1980年公開の映画「ザ・ブルース・ブラザーズ」で使われた曲をメドレーにしたもので

シカゴ郊外の刑務所を出所した全身黒尽くめの兄弟ジェイクとエルウッド。二人は以前過ごした孤児院が5000ドルの税金を払えないために立ち退きの瀕境にあります。この窮地を救うために昔の仲間とバンドを再結成し、次々と大騒動を引き起こします。そんな彼らの様子をブルース・ミュージックにのせて、スリルとスピード、笑いとアクションで描いています。

ニュー・シネマ・パラダイス 作曲／アンドレア・モリコーネ、エンニオ・モリコーネ 編曲／大島ミチル

1989年公開の同名の映画は、映画史に残る至上の名作といわれています。

舞台は、第二次世界大戦直後のシチリア島。村での娯楽は、映画館『パラディソ座』で上映される映画だけ。そんな島で、少年と映写技師が映画を通じて年齢を超えた友情を育む様子を、感動的な音楽と繊細な人物描写で描きだしています。映画で使われた曲の中から、「ニューシネマ・パラダイス」「愛のテーマ」「初恋」の三つのテーマをメドレー形式でお送りします。

スマイル 作曲／チャールズ・チャップリン 編曲／天野 正道

この曲は、チャールズ・チャップリンが1936年に公開したコメディ映画『モダンタイムズ』の挿入曲として作ったメロディーがもとにアレンジされています。本来はオーボエのソロ曲なのですが、今回はフルートをフィーチャーしました。

エルヴィス・コステロの歌唱で広く知られている曲です。今回は16ビートの華やかなアレンジとなっています。

スパイ大作戦のテーマ 作曲／ラロ・シフリン 編曲／真島 俊夫

この曲は、1966年から放送されたアメリカの人気テレビドラマ「スパイ大作戦」のテーマ曲です。

今年7月にシリーズ3作目の公開を控えている、トム・クルーズ主演の映画『ミッション・インポッシブル』にも使われています。変拍子がスリリングで、ハード・ボイルドな印象のこの曲は、映画を見たことのない人でもどこかで一度は耳にしたことがあるのではないかでしょうか。

ドラマが刻むエキサイティングなリズム、中間部のサックス2本のダイナミックな掛け合い、続くトランペットの華やかなソロ、ホルンの雄叫び等、いろいろな楽器のカッコいい部分を、ふんだんに盛り込んだ構成に仕上がっています。各楽器の動きにも注目しながらお聴きください。

ホール・ニュー・ワールド 作曲／アラン・メンケン 編曲／星出 尚志

ディズニー映画「アラジン」でおなじみの曲、「ホール・ニュー・ワールド」。

この曲は、華やかな出だしから始まり、それに続くフルートやクラリネットで奏でられる静かなメロディーは、まるで魔法のじゅうたんに乗って風のように空を飛んでいる様子を表現しているように聞こえます。やがて曲が中盤に差し掛かる頃には、「アラジン」と「ジャスミン」が愛をささやき合っているように様々な楽器同士の掛け合いが続きます。そして、サックスによる力強いソロがあり、その後また静かなメロディーに戻り物語が終わります。砂漠の都で繰り広げられる、ロマンチックな物語の情景を思い浮かべながらお聴きください。

交響組曲「ハリー・ポッター」 作曲／ジョン・ウェイリams 編曲／R.W.スミス

この曲は、「ハリー・ポッター」シリーズ第1作目である「ハリー・ポッターと賢者の石」の中で使われている曲からなっています。主人公ハリーは「ホグワーツ」という魔法学校に入学して、立派な魔法使いになるための修行を始めるのですが、さまざまな試練や冒険がハリーを待ち受けています。

木管楽器による神秘的かつ怪しげで流れるような動きや、金管楽器による華やかで力強い響きで、映画の中で使われている旋律が何度も奏でられドラマティックなクライマックスを迎えます。